

日経225ミニの特徴

インターネットで株式やFXの取引をしたことのある人は、日経225ミニの取引は簡単に感じているでしょう。注文方法もほとんど同じです。ただ、日経225ミニには、「レバレッジ」「証拠金(しょうごきん)」「追加証拠金(ついかししょうごきん)」など、独特な言葉とルールがあります。これらはとても大切ですので、しっかりと理解してから取引を始めるようにしましょう。

● 少額の資金で高いレバレッジ効果が得られる

日経225ミニの最大の魅力は、アルキメデスが「地球でも動かしてみせる」と言った「レバレッジ」(てこを利かす)を使った取引ができることです。

日経225ミニの最低取引単位は1枚です(株式と違い「枚」と数えます)。1枚の取引額は、そのときの日経平均株価のほぼ100倍ですので、日経平均が1万円するとき

は、100万円です。1枚の取引に必要な資金を証拠金(しょうごきん)と呼びます。証拠金は定期的に見直されますが、おおむね5〜10万円です。

1枚の取引に必要な証拠金が5万円で100万円の取引ができる、つまり、少額の資金で大きな取引ができるということが、レバレッジです。

もう少しわかりやすく説明すると、レバレッジは「倍率」ということです。つまり、30万円の資金を元に、600万円の取引をしているならば、レバレッジ20倍ということになります。手元資金の何倍の取引をしているのかという倍率のことをレバレッジと覚えてください。

ただし、日経225ミニでは、証拠金の金額と、1枚当たりの取引金額が常に変動します。そのため、何倍のレバレッジ設定が適切なのかはその時々で変わります。その計算方法は第5講義で説明します。

▼日経225ミニは少額資金で取引できる

